

## 日曜学校だより 保護者のみなさまへ

9月14日号 no.3

過ごしやすい季節になってきました。

今年の夏は、そこまで暑くなく、近年に比べると比較的ましだったのではないのでしょうか。

これから、季節は秋になり、冬になり、また寒い季節を迎えます。

ついこの間までは、「あつい、あつい」と言っていたのに、「さむい、さむい」と言うようになります。

私たちはなんて勝手なんだろうと思う瞬間でもあります。

これと同じようなことで、私たちは状況によって、ころころと考えを変えていくことがあります。

「いい人」、「嫌な人」というのがそうです。

例えば、あなたが契約している駐車場に、ある時、見知らぬが車を停まっていた。

その持ち主と思われる方とすれ違ったのにもかかわらず、相手は何も言わず速足で去ってしまいました。

すると、あなたは、「人の駐車場に勝手に停めて、あいさつもなしか！なんという“嫌な人”だ。」

と、こう思うでしょう。

けれども、しばらくして、その車の持ち主が訪ねてきて、「さきほどは、すみませんでした。仕事で時間がなかったものですから…」といって、なにやら立派そうな品物を渡されました。

すると、どうでしょう？ あっという間に、笑顔になり、

「いいんですよ。また停めてください(こんな大層なものくれるなんて、なんて“いい人だ”)」

と言ってしまふ。

極端な話かもしれませんが、このようなことは、私も覚えがあります。みなさんもよくあるのではないのでしょうか？

もともと「いい人」がいたり、「嫌な人」がいたりするわけではないのです。自分にとって「いい人」、「嫌な人」がいるだけです。

本来ないはずの、「いい」、「嫌」、という見方を自分の都合によって、相手になすりつけ、さらに、場合によって、ころころと変えてしまうのが、私たちです。

そういった私たちのありようを、仏さまは心配で心配で仕方がないのであります。

仏さまがご心配くださっているということを、忘れずにいたいものであります。

賢明寺 副住職 大江 英崇

☆子どもたちの様子はこちらでチェック！ ・賢明寺ホームページ <http://kenmyouji.com>

・お寺でフェイスブックもやっています！